

海岸に植樹のKALA 総会 11年目に向け 決意新た

津波被害に備えて遠州灘の海岸に広葉樹を植える「KALAプロジェクト」の関係者の総会が、浜松市南区の企業であった。総会前には植林した広葉樹の育ち具合を確認し＝写真、11年目に向けた意欲を新たにした。

プロジェクトは市民団体「縄文楽校」の呼びかけに応えた南区の自治会や学校、NPO法人、企業などでネットワークを作り、2012年に始まった。これまでにシイやカシなどの苗木1万5000本を植えた。根付けば土壌が強固になり、憩いの場にもなる期待もある。

総会には関係者12人が参加。2023年度には10



回ほど、500㍍の区間で植樹や草刈りをする行事案などを承認した。

活動開始時に植えた広葉樹は高さ5㍍ほどに育っている。現地を見学した参加者からは「重い堆肥や土を何度も運んだ」と当時の苦労話が披露され、「努力次第で植樹面積を広げられる」といった感想が聞かれた。(宮沢輝明)